



平成24年3月9日

各 位

上場会社名 株式会社 CDG
代表者 代表取締役社長 藤井 勝典
(コード番号 2487)
問合せ先責任者 専務取締役管理部長 曾我部 憲昭
(TEL 06-6282-0662)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年10月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	700	700	420	214.47
今回修正予想(B)	10,300	815	825	560	285.44
増減額(B-A)	300	115	125	140	
増減率(%)	3.0	16.4	17.9	33.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	8,813	471	493	265	133.96

修正の理由

当社グループは、更なる事業拡大を目指し、顧客がセールスプロモーションで使用するグッズの企画及び販売によるビジネスから、顧客の営業上の課題に対応するマーケティング会社としてのサービスが提供できるように体質変換に取り組んでまいりました。その中で、目指すべき当社のビジョンを「顧客の営業上の課題全般に取り組む」という視点で「マーケティングソリューションカンパニー」とし、当社業務の根幹であるグッズの企画製作機能に加え、「インストアマーケティング」、「デジタルプロモーション」など販売促進全般に対応すべく業務領域を拡大し、「サプライチェーンマネジメント」、「システム開発」、「企業間のアライアンスビジネス」など、顧客の営業上の課題「全領域」に対応できるように順次機能の付加を行なってまいりました。特に当連結会計年度におきましては、「キャラクターを中心にしたコンテンツビジネス」、「顧客の販路拡大を支援するビジネス」、「POPを中心としたインストアマーケティング」といった取り組みにより、上流案件が増加したことで案件規模が拡大し、生産性が向上しました。これらの結果、ビジネスの高付加価値化とともに、主要顧客への深耕が進み、飲料、製薬、情報通信を中心にほぼ全業種での売上の伸びが見られ、各項目におきまして上記の通り計画数値を上回る見通しとなりました。なお、販売費及び一般管理費につきましては、当第4四半期に実施する本社移転費用等により、当初見込みから若干の増加を見込んでおります。また、「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会監査委員会報告第66号)に基づき、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、平成22年3月期第2四半期において取崩した繰延税金資産を、当第4四半期に戻し入れることとなりました。これらにより、当期純利益が計画数値を大きく上回る見通しとなりましたので、上記の通り修正いたします。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上